

# 令和7年度 麻生区地域デザイン会議 開催報告

## 開催概要

日時：2026年2月7日(土) 10:45～11:55

会場：新百合トウェンティワンホール

参加者：発表者 区内在住小中学生 4名  
地域企業担当者 4名  
一般参加者 約50名

### プログラム:

10:45～ 開会・取組説明

10:55～ 各チーム発表

11:50～ 閉会・事務連絡



- ・本会議は、SDGs推進の取組を考え、学ぶイベント「サステナブルマルシェ」の中で、一般社団法人サステナブルマップによる「新百合ヶ丘マイクラフト化計画」（令和7年度麻生区市民提案型協働事業）の成果発表と、麻生区地域デザイン会議を連携して実施しました
- ・区内在住の小中学生で構成されるメンバーが、4つのテーマ（自然環境、交通インフラ、防災、芸術・コミュニティ）でマイクラフト®上に作成した「新百合ヶ丘」を発表。子どもたちが描いた“未来の新百合ヶ丘”を地域企業・団体担当者も交えて話し合いました
- ・会場入口で「サステナブルマルシェ」来場者へ、新百合ヶ丘のまちづくりに関するテーマでシール投票を実施しました



# SUSTAINABLE MARCHE

子どもが創るまち、  
みんなで育てる未来



## サステナブル マルシェ

大画面で  
新百合ヶ丘の街を  
マイクラフトで遊べる!!

2026.2.7 SAT 10:00-16:00  
新百合トウェンティワンビル



麻生区万福寺一丁目2番2号 小田急線新百合ヶ丘駅北口 徒歩2分

マルシェ最新情報は  
こちら



### booth サステナブルマルシェブース 「サステナブル」をテーマに、様々なブースが集結!

販売ありのブース

<b>B1F</b>	<b>1</b> 柿生小学校 ①回収した古着リメイク品の販売 ②取組みの発表 ③難民支援のための募金活動	<b>2</b> souvenir aroma (スーベニアアロマ) アロマ製品販売
	<b>3</b> 一般社団法人Miraiallかわさき みんなで作る更年期の未来	<b>K1</b> 屋外展示
<b>B2Fロビー</b>	<b>4</b> 一般社団法人Miraiallかわさき ×田園調布大学 小児がん支援レモネードスタンド	<b>7</b> レストラン mira-foresta 麻生区の作物を使ったお菓子販売
	<b>6</b> 生活クラブ生活協同組合 生活クラブ 試食品の提供、販売	<b>10</b> 眼精疲労回復「キャッチアイEs」 眼精疲労回復キャッチアイEs 無料 体験、イベント特別割引実施
<b>8</b> ホテルモリノ新百合丘 焼き菓子とテイクアウトスイーツ	<b>9</b> 株式会社platinuMATES 「トイオフレイグランド」を用いた遊び、 コンテンツ体験会	<b>13</b> アジア航測株式会社 赤色立体地図で新百合ヶ丘周辺の地 形の特徴を確認し人工地形を学ぼう!
<b>11</b> 一般社団法人サステナブルマップ フリーマーケット、カンボジア孤児院 支援商品の販売	<b>B2F ホワイエ</b>	<b>16</b> ロボット科学教育Crefus新百合ヶ丘校 LEGOで製作したロボットの展示お よびプログラム体験
<b>14</b> 新百合ヶ丘総合病院 手洗いチェッカー	<b>15</b> 伸和コントロールズ株式会社 会社紹介等	<b>20</b> 一般社団法人こどもドリームデザイン 青少年のキャリア支援のイベント、 SNSの案内など
<b>17</b> 新百合ヶ丘オーバ 新百合ヶ丘オーバでのSDGs・ 地域連携取組の紹介	<b>18-19</b> 一般社団法人サステナブルマップ フリーマーケット、カンボジア孤児院 支援商品の販売	

### stage ステージイベント B2F ホール 一緒に考えよう! 麻生区の未来

10:15-10:30	オープニング	
10:45-11:45	Minecraft成果発表×麻生区地域デザイン会議	麻生区在住の小中学生で構成されるビルダーズが、それぞれのテーマで作成した「新百合ヶ丘」を大画面で発表。みんなで未来の新百合について話し合おう。
12:00-12:45	出展ブースのご紹介	サステナブルマルシェに出展している企業や団体の活動を直接聞いてみよう。
13:15-14:15	「正解じゃなくて、納得で学ぶー正解が先に出る時代に、わたしたちはどう学ぶ?」	現役教員と、現役中高生がフラットな目線で「学び」について語り合います。
	<p>坊佳紀 [ぼうよしき] 公立高校教師 オモロイ現象発表会 全国実行委員長</p> <p>中澤 幸彦 [なかざわ ゆきひこ] 公立中学校特別支援教室担当 AERA with kids ババ子育てアドバイザー</p> <p>木野 雄介 [きの ゆうすけ] 教師 ×フューランス ×主夫</p>	
14:40-15:30	大画面でマイクラフト!	アジア航測株式会社作成の「トウェンティワンビルを再現したワールドでタイムアタック!」ゴールすると景品がもらえる!
15:45-16:00	「未来に向けて」子どもたちから大人へのメッセージ	

一般社団法人  
サステナブルマップ

知る、動く、つながる。地域の資源を体験でつなぎ、持続可能な未来を自分たちの手で描く活動をしています。

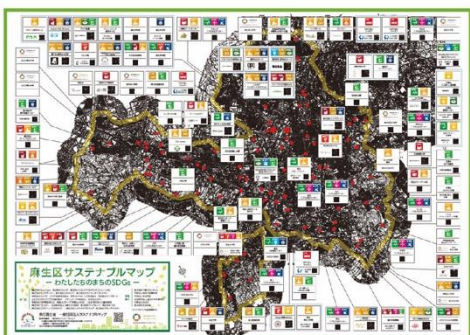
最新情報は公式LINEから



【主催】一般社団法人サステナブルマップ 【共催】川崎市/新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム  
【協賛】株式会社エアブレイン/株式会社OPA 新百合ヶ丘オーバ/かわさき生活クラブ生活協同組合/株式会社グローバルアクト/一般社団法人こどもドリームデザイン/  
新百合ヶ丘総合病院/伸和コントロールズ株式会社/株式会社SUIREN/合同会社Stella/高橋昌也税理士事務所/株式会社ビュウラー/株式会社platinuMATES/  
株式会社ホテルモリノ/一般社団法人Miraiallかわさき/株式会社ロボット科学教育 (50音順)

お問い合わせ 一般社団法人サステナブルマップ TEL: 044-400-1900 Mail: info@sustainablemap.org

■なぜMinecraft®でまちづくり？



令和3年～5年まで、地域資産を可視化するため麻生区内在住の小中学生が中心となってサステナブルマップ®を作成してきました。最終的に抽出、掲示した数は96拠点。麻生区内の全小中学校、行政関連施設、企業、テナントビルに無償配布させていただきました。また掲載数の限界から、デジタルマップも作成。



平面で表現する限界



なぜマインクラフト®でまちづくりを考えたのか

- ・令和3年～令和5年度に取り組んだサステナブルマップづくりでは掲示した拠点数は96にもなり、平面（紙）での配布には限界があった

■新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針

新百合ヶ丘駅周辺のより一層の魅力あふれるまちづくりに向けて、まちの将来像やその実現に向けた取組の方向性等を定めるとともに、地域の皆さんと共有し、協働・連携により、駅周辺の適切な土地利用やにぎわいを創出する市民活動などのまちづくりを進めるために、「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針（案）」を令和6年11月に公表し、意見募集の結果等を踏まえ、「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」を令和7年3月に策定しました。（市ホームページより抜粋）

2. まちづくりの基本方針

<p>(1) まちの将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 駅周辺の交通環境の改善及び交通結節機能の強化等</li> <li>② 多様な都市機能の拡充とにぎわいの創出</li> <li>③ 新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化・緑・地域活動等）の継承と進化による「多様な人々が集うまち」</li> </ul>	
<p>(2) 分野別の基本方針</p> <p>市北部の広域拠点にふさわしい都市機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 駅中心部の高度利用などによる、多様な都市機能の充実</li> <li>② 新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化・緑等）を活かした市及び国内外から人を呼び込む機能の充実</li> <li>③ 多様な階層ニーズ等に合わせた住まい・住み方や交流を支える機能の充実</li> <li>④ 次世代型オフィス等の整備による、持続的かつ多様な雇用・人口の確保</li> <li>⑤ 地域連携を踏まえた計画的なまちづくりの推進</li> </ul>	<p>緑あふれる美しいある都市環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 緑に彩られた都心の風景の創出</li> <li>② 緑地がよきよきたくなる緑に囲まれたまちなみの形成</li> <li>③ 地域活動等による緑のネットワーク形成</li> <li>④ 特色のある緑や身近な緑の維持と創出</li> </ul>
<p>誰もが歩きやすく移動しやすい交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 交通環境を改善する基盤の整備</li> <li>② 歩車分離による安全で快適かつ円滑な交通環境の整備</li> <li>③ 「人」中心のウォークアブルなまちづくり</li> <li>④ 3号線延伸を見据えた交通結節機能の強化</li> </ul>	<p>災害時における都市の防災性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災性能の高い建物や駅前空間等の整備</li> <li>② 災害時の緊急輸送等のアクセシビリティの向上</li> <li>③ 防災時に備えた取組の推進</li> <li>④ 地域の特性に応じた防災まちづくり</li> </ul>



- ・子どもたちには文章が難しい。
- ・若者世代の声を盛り込みたい。
- ・自分たちの声を反映する仕組みはないか。



新百合ヶ丘駅周辺地区のまちづくり方針の理解のために

- ・新百合ヶ丘駅周辺地区のまちづくりが具体化する段階において、**子ども・若者世代の声を、計画前段階から可視化し共有することを目的として実施**
- ・川崎市が策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」は、文章量が多く子どもには理解が難しいという課題があり、これを体験的・空間的に翻訳する手法としてマインクラフト®を採用した

■「新百合ヶ丘マインクラフト化計画」の取組 Minecraft®



- ・月間アクティブユーザー数 全世界で2億人
- ・正解のない問いを創れる
- ・やり込み要素がある
- ・考えを形にしやすい

3D都市モデル PLATEAU



- ・国土交通省が主導する、日本全国の3D都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」
- ・川崎市は全区のデータ化済



- PLATEAUの新百合ヶ丘駅周辺データをMinecraft®用のデータに変換し作成。
- まちづくり方針の資料に書かれている分野別の基本方針から、4つのテーマに分類し、参加人数を振り分けました。
- チーム：防災/芸術・コミュニティ/自然環境/交通インフラ



マインクラフト® × PLATEAUによる参加手法の特徴

- ・国土交通省主導の3D都市モデル「PLATEAU」を活用し、新百合ヶ丘駅周辺の実データをマインクラフト®用に変換。現実の地形・建物配置を前提としたリアルな都市シミュレーションを可能とした
- ・マインクラフト®は、「正解のない問いに取り組める」「試行錯誤を前提とする」「考えを即座に『形』にできる」という特性を持ち、単なるゲームではなく、合意形成・創造的対話のツールとして機能した



## ■みどころ

- 緊急地震速報装置：すぐに知らせることが出来る
- 地下シェルター：いざというときにいち早く避難できる
- エレベーター：地下に楽に上り下りできる
- 地上の道：新百合ヶ丘南口デッキを再現
- 地上のトロッコ：高齢の方や、移動が困難な人のため作成

## 発表者：防災チーム

緊急地震速報、地下シェルター、エレベーター、あと高齢者の人を運べるトロッコを制作しました。緊急地震速報の音程を合わせるが本当に難しく、何回もやり直しましたが、本物の音にできるだけ近づけようと思って頑張りました。

シェルターは地盤が固いほうが安全なんじゃないかって話も出て、みんなで考えながら決めました。

区役所で集まったときに、大きなトロッコをみんなで協力して作ったのが一番楽しかったです。その時がいちばん『やってるな』って感じがありました。



## 防災チームへのコメント（アジア航測株式会社）

防災チームによる地下シェルターや立体的な避難動線の提案は、非常に現実的かつ示唆に富む内容でした。

新百合ヶ丘周辺は地盤が比較的安定しており、地下空間の活用は技術的にも十分検討に値します。特に、地上から地下へ迅速にアクセスできるエレベーターや、高齢者・移動困難者を想定した動線設計は、実際の防災計画においても重要な視点です。

子どもたちの発想は単なる想像にとどまらず、「誰がどう避難するか」という具体的な利用者像を伴っていて、今後の防災インフラ検討において、こうした視点を積極的に取り入れていきたいと感じました。





## ■みどころ

- 温泉：疲れている人が休憩できる、癒しタイム
- プール・ウォータースライダー：子どもも楽しめる
- くつろげるカフェ：ゆったりする
- サッカー場：体力づくり&コミュニケーション
- サッカー場下のストリートダンス場：踊れる場所を作る

## 発表者：芸術・コミュニティチーム

それぞれが自分の理想のものを作る  
 感じで進行了ました。芸術・コミュニティ  
 チームでは、温泉、プール、カ  
 フェ、バーベキューエリア、サッカー  
 場などをつくりました。

区役所の近くだと子どもはあまり行  
 かないかなと思ったので、子どもも楽  
 しめる場所を作りたいと思って、バー  
 ベキューエリアを制作しました。

こうしたらもっとよくない？とかア  
 ドバイスし合ったりして、それがすご  
 く楽しかったです。

温泉やカフェ、サッカー場なども  
 あり、休みの日に自分も来たいなっ  
 て思える街をイメージして作りまし  
 た。



## 芸術・コミュニティチームへのコメント（新百合丘OPA）

芸術・コミュニティチームの提案からは、新百合ヶ丘駅周辺が非常  
 に多様な過ごし方を受け止める街として描かれていることが伝わって  
 きました。ゆっくり過ごしたい人、アク  
 ティブに楽しみたい人、それぞれが自分  
 のスタイルで滞在できる空間構成は、商  
 業施設にとっても新しい可能性を示して  
 います。

特に、バーベキューやカフェ、イベン  
 트의な要素が点在することで、来街目的  
 が一つに限定されない点が魅力的です。

こうした発想は、新たな来街者との出  
 会いを生み、街全体の回遊性向上にもつ  
 ながると感じました。





## ■みどころ

- 動物園：動物を見に人が集まる
- 温泉：焚火で湯気が出る。サウナもある
- ウォータースライダー：大きくてジグザグしていて巨大
- 図書館：OPAの上で街の人がゆっくりする
- ツリーカフェ：街のシンボル。眺めがいい。

## 発表者：自然環境チーム

自然環境チームは、南口エリア帯を緑で包み込む構成を考え、動物園、ツリーカフェ、図書館、温泉ウォータースライダーなどを制作し、僕は図書館をみんなで作り直すのに力を入れました。

年齢関係なく、いろんな人が来られる場所にしたいと考え、建築が難しい部分も壊して作り直したり、考えながらやりました。

街全体については緑をいっぱいにして、街の中に自然がたくさんある感じにしたいと思い、みんなが自由に入れて、なんとなく集まれる場所があったらいいなと思いながら作りました。



## 自然環境チームへのコメント

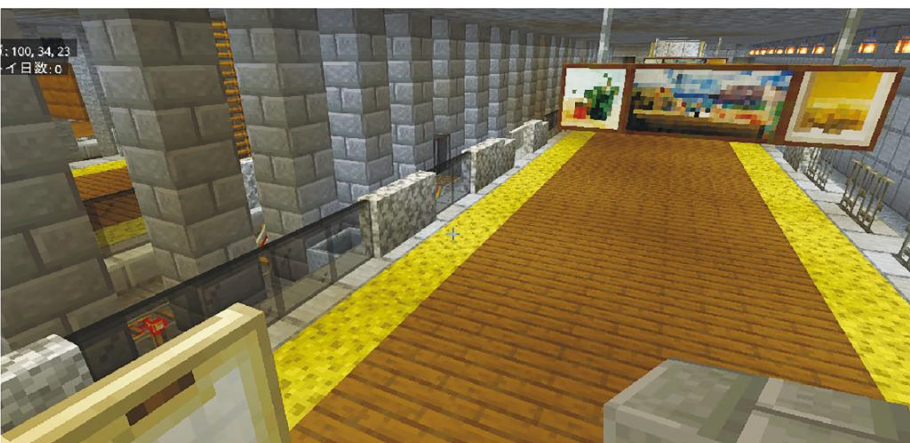
### (新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム)

自然環境チームの提案を通じて、新百合ヶ丘が本来持っている「緑の豊かさ」が改めて強く表現されていた点が印象的でした。都心から近い立地でありながら、緑に包まれた空間の中で多様な活動が展開される姿は、このエリアの将来像を象徴しています。

子どもたちは、50年後・100年後に自分たちが使う街を自然に想像しながら制作していて、その視点は長期的なエリアマネジメントの考え方と重なります。

こうした発想を、今後のまちづくりの議論にしっかりとつなげていきたいですね。





## 発表者：交通インフラチーム

交通インフラチームは、地下鉄導入後の駅構造、南北横断動線、バスターミナル再配置、ホームドア操作などを再現しました。鉄道・バス・歩行者を体として捉え、街の回遊性を重視しました。

地下鉄ホームやバスターミナルなどを制作し、ホームドアのボタンを押すとトロッコが来るようにしたりと工夫しました。

電車とか乗り物を作るのがすごく楽しかったです。作業中はみんな喋りながらずっと作っていて、気づいたらすごいものができている感じでした。トラブルで止まった時も、みんなで笑いながら直しました。

最後に一緒にバスターミナルを完成させたときが、一番楽しかったです。



## 交通インフラチームへのコメント（小田急電鉄）

交通インフラチームの提案は、非常に細部まで作り込まれており、驚かされる内容でした。地下鉄ホームやバスターミナル、南北動線の整理など、実際のまちづくり検討と重なる視点多く、単なる模型的表現にとどまらない完成度を感じました。

特に、駅を中心に人の流れをどう組み立てるかという視点は鋭く、実務者にとっても参考になります。街づくりに関わる人たちが、このようなシミュレーションを共有しながら検討を進めることの有効性を強く感じました。



### ■ みどころ

新百合ヶ丘駅 横浜市営地下鉄ホーム：ホームドアについているボタンを押すと、車両が召喚されて、乗車することができる  
改札付近にある鉄道本屋：たくさんの鉄道の歴史や電車の様々な事について知ることができる

バスターミナル：信号。南北横断できる道路



先ほど4人の皆さんに発表していただきました。どうもありがとうございました。まず率直に感じたのは、子どもの発想って本当に豊かで自由で、すごいなということです。大人になると、どうしても制度や予算、現実的な制約を考えてしまいますが、皆さんの提案は、そういった枠にとらわれずに、「こういう街があったらいいな」という思いをまっすぐ形にしていました。

共通していたのは、緑があって、ゆったり過ごせて、でもアクティブにも過ごせる、いろんな使い方ができる街を思い描いているという点だったと思います。図書館やカフェのように静かに過ごせる場所があれば、バーベキューやスポーツ、防災施設や地下鉄の仕組みまで、幅広い視点で考えられていました。

特に素晴らしいと感じたのは、自分たちの楽しさだけでなく、高齢者の方や体の不自由な方など、いろいろな立場の人のことを自然に考えていたことです。地下シェルターをつくる、エレベーターを二つにする、移動手段を工夫するなど、具体的な形で配慮が表れていました。まちづくりは多世代が安心して過ごせることが基本ですから、その視点を皆さんが持っていることに、大きな可能性を感じました。

現在、新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりは、北口を中心に公共施設の再編など具体的な検討が進んでいます。今日の発表がそのまま計画になるわけではありませんが、そこに込められた「こんな街であってほしい」という思いは、これからこの街を担っていく世代の大切な声です。行政としても、その声をしっかり受け止めながら、区民の皆さんとともにより良い街づくりを進めていきたいと思っています。

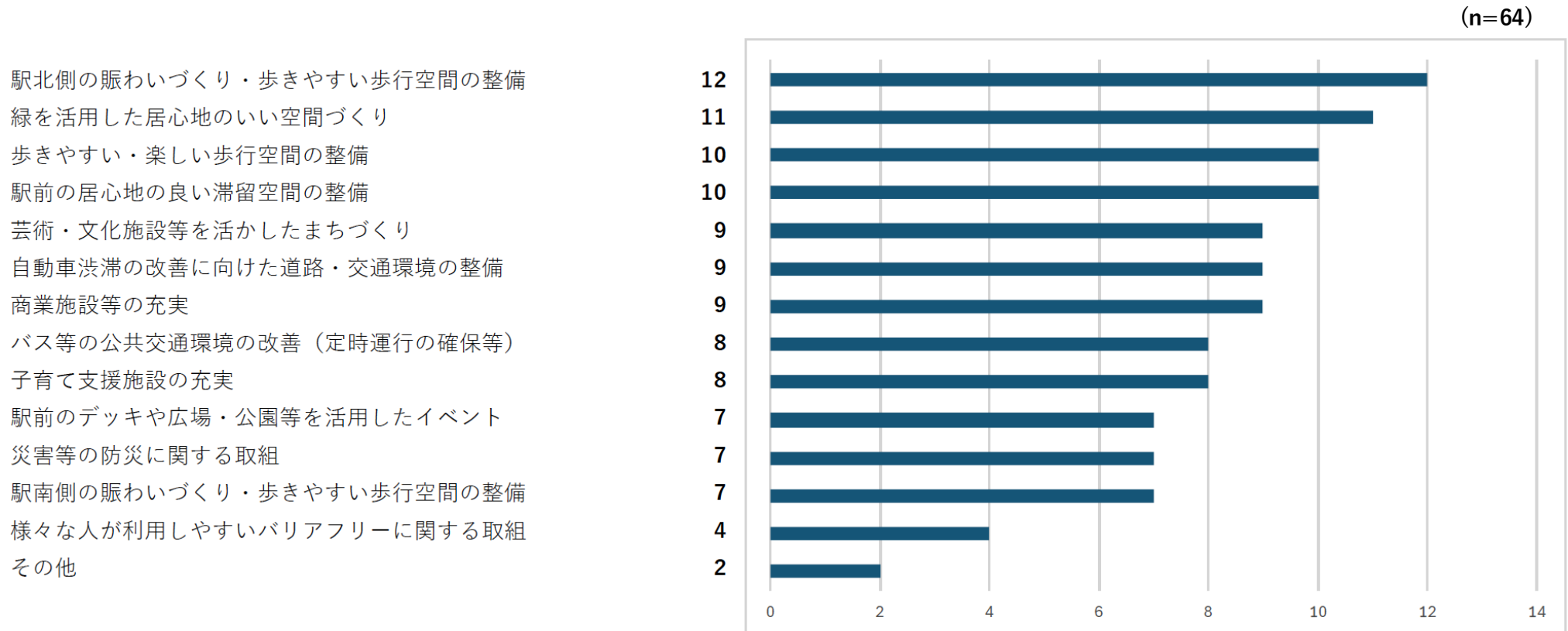
本日は本当にありがとうございました。

# 令和7年度 麻生区地域デザイン会議 シール投票 集計結果 (1/2)

会場入口で「サステナブルマルシェ」来場者へ、新百合ヶ丘のまちづくりに関するテーマで1人3票まででシール投票を実施しました。シール投票のテーマ・設問は、令和6年度麻生区区民アンケートの項目から決定し、集計後は区民アンケート結果との比較も行いました。

## 新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりで重点的に取り組んでほしいこと

令和6年度麻生区区民アンケートでは「自動車渋滞の改善」(42.4%)が圧倒的1位。しかし地域デザイン会議では「駅北側の賑わいづくり」(12票)が1位となり、「緑を活用した居心地のいい空間」(11票)、「駅前の滞留空間」(10票)が続きました。特に「芸術・文化施設等を活かしたまちづくり」は区民アンケートでは8.3%(最下位グループ)だったのに対し、地域デザイン会議の会場では9票と中上位に浮上しました。

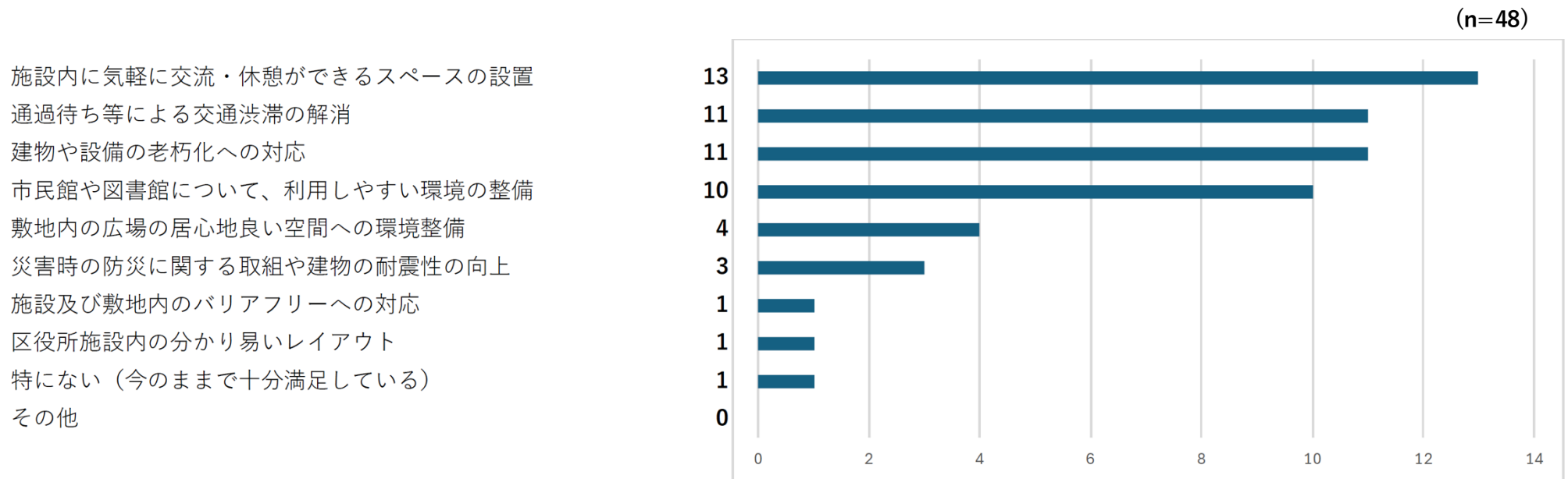


区民アンケートについては下記参照してください。  
<https://www.city.kawasaki.jp/asao/cmsfiles/contents/0000172/172925/gaiyou.pdf>

会場入口で「サステナブルマルシェ」来場者へ、新百合ヶ丘のまちづくりに関するテーマで1人3票まででシール投票を実施しました。

## 新百合ヶ丘駅周辺の公共施設で重点的に取り組んでほしいこと

区民アンケートでは「駐車場待ち等による交通渋滞の解消」(41.6%)が1位でしたが、地域デザイン会議では「施設内に気軽に交流・休憩ができるスペースの設置」(13票)が1位に逆転。地域デザイン会議では「居場所・交流」を重視する傾向が出ました。

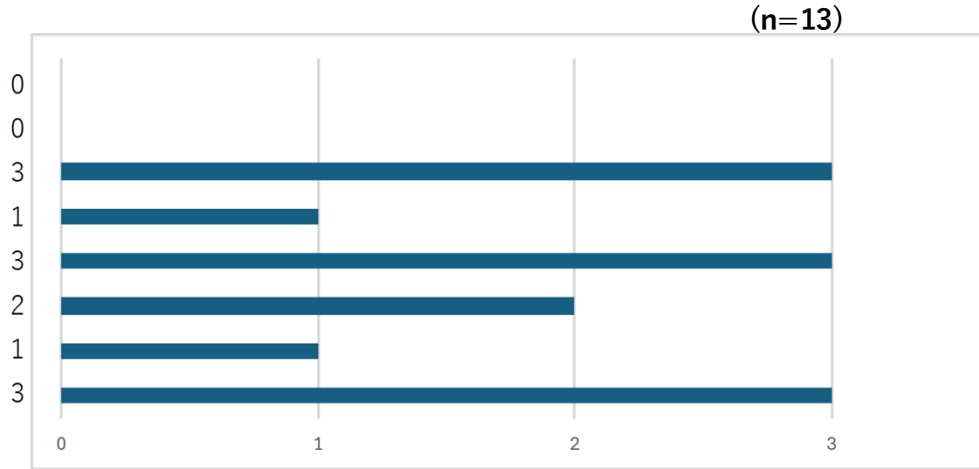


区民アンケートについては下記参照してください。

<https://www.city.kawasaki.jp/asao/cmsfiles/contents/0000172/172925/gaiyou.pdf>

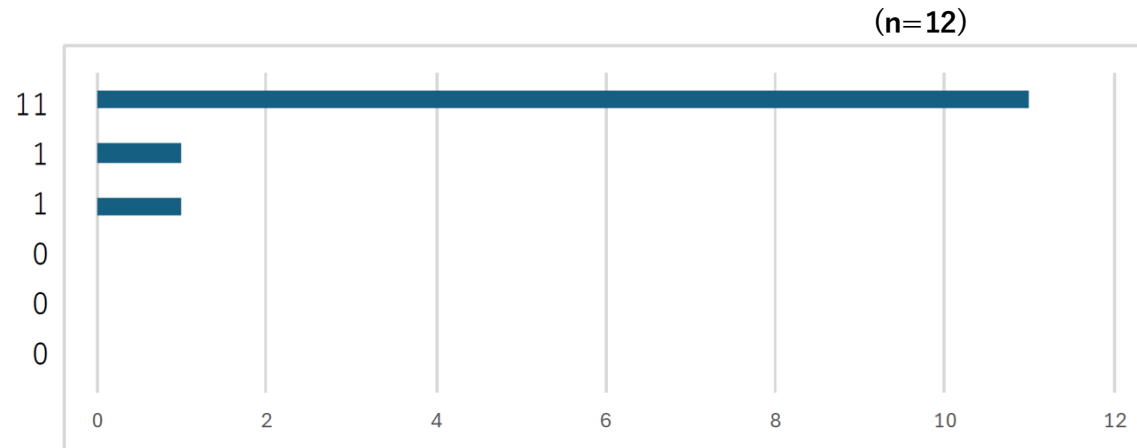
年 齢

- 10歳未満
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上



職 業

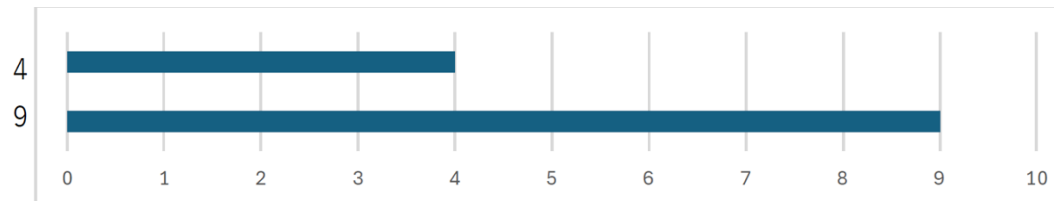
- 会社員（経営者を含む）・公務員
- 主婦・主夫（家事専業）
- 無職（収入が年金のみの方を含む）
- 学生
- 自営業
- パート・アルバイト



これまで行政が主催する会議に参加したことはありますか

(n=13)

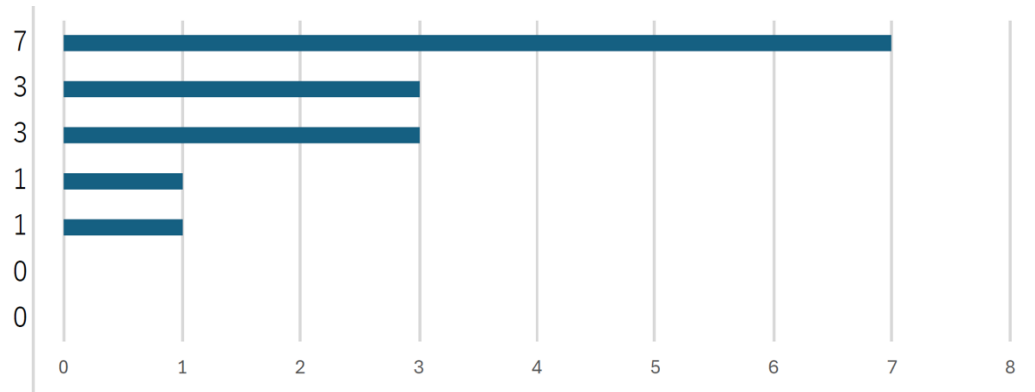
- ある
- ない



## なぜ本日地域デザイン会議に参加しようと思いましたか

(複数回答可 n=15)

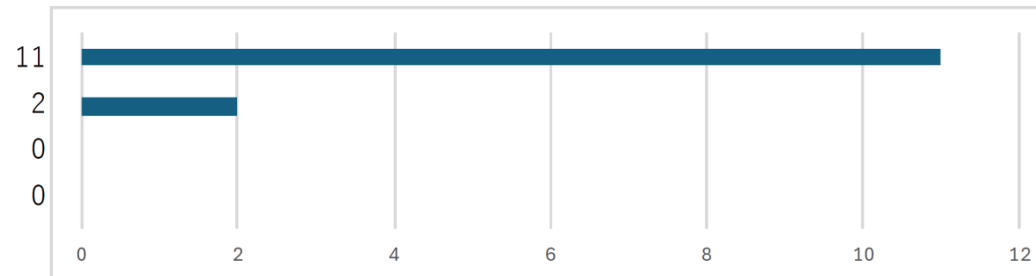
- テーマに興味または課題を感じていたから
- 地域課題への取組の実践に協力したかったから
- 知人・友人に誘われたから
- 自身が参加している地域団体に依頼があったから
- その他
- 地域課題の提案や意見を出したかったから
- 他の参加者と交流したかったから



## 開催日時は参加しやすかったですか

(n=13)

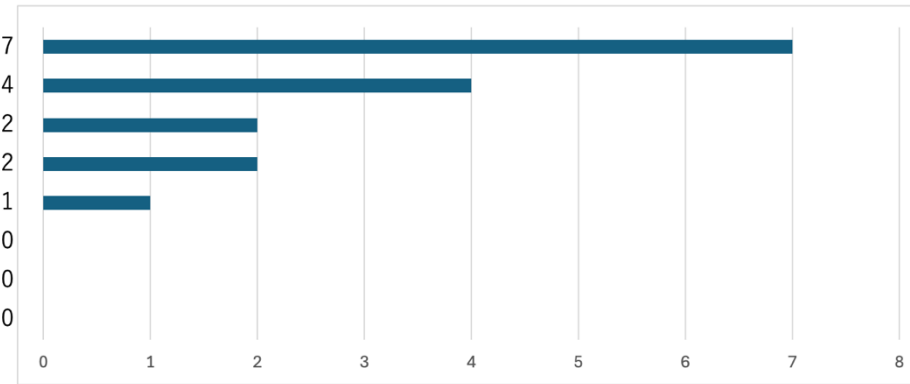
- 参加しやすかった
- やや参加しやすかった
- あまり参加しやすくなかった
- 参加しやすくなかった



## 本日の地域デザイン会議に参加してよかった感じる点は何ですか

(複数回答可 n=16)

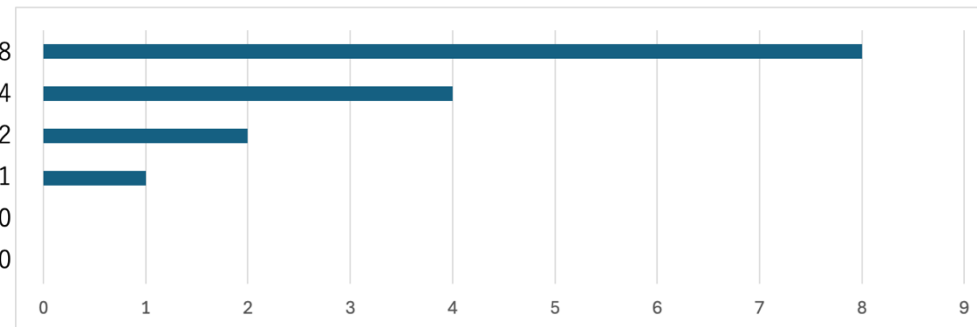
- 地域課題への気づきがあった
- 開催日時、開催形式等の面で参加しやすかった
- 区や地域に興味を持つきっかけになった
- 地域の活動に参加してみたいと思った
- 団体や個人とのつながりを深めることができた
- 自由な議論ができた
- その他
- 特に良かった点はなかった



## 本日の地域デザイン会議に参加してどのような成果が得られましたか

(複数回答可 n=15)

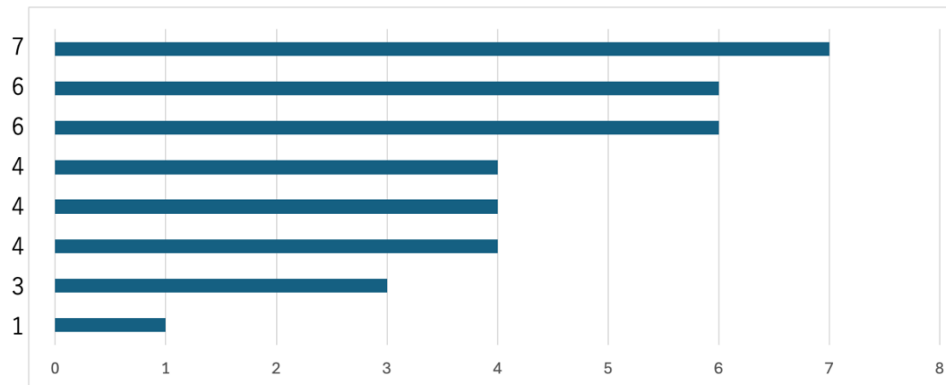
- 幅広い世代の人が参加した
- 地域の課題や話し合いの結果を広く知らせることができた
- 話し合った結果を実際の取組につなげることができた
- 地域の様々な活動団体同士がつながりを深めることができた
- より多くの区民と話し合い、意見をまとめることができた
- その他



## 地域デザイン会議取り上げてほしいテーマをお聞かせください

(複数回答可 n=35)

- みんなが誰かとつながっているまち
- 安心して子育てができるまち
- 芸術・文化活動が盛んなまち
- 防犯、交通安全など安全・安心なまち
- 高齢者がいつまでも元気なまち
- 花や緑が溢れるまち
- 地域活動・スポーツ活動が盛んなまち
- その他



**Minecraft® 成果発表で、心に残った言葉、新たな気付きがありましたら、記入してください。**

- ・子どもたちの意見が取り組めるのは良いと思いました。  
個々に作業するのがさみしすぎると思いました。一緒に考えるのが大事なのでは。
- ・作ったものがすぐになくなってしまふ。経過も必要。
- ・自分たちで作る未来
- ・合意形成による解を子供たちにゆだねている点は良かった
- ・自由な発想で開発されていて、子どもが想うまちづくりを知ることができた
- ・マインクラフト®を通じて子どもたちが楽しそうにまちづくりを考えているのが良かった
- ・マインクラフト®で形を作っているうちに、具体的なイメージと結びつく。ゲームだけでなく、こんな風に利用できることが目からうろこ
- ・みんなで街を作っていく、出来上がりが楽しいというコメント、頼もしく感じました
- ・自分たちが住みたいまちをつくったという言葉は、新百合ヶ丘の大人としては、少しでも実現したいと思いました
- ・完成度が高く、発想の豊かさを感じた。製作期間や実際に子ども同士の言い合いになったという話を聞いて、本気で取り組んでいる様子がわかり感動が深まった
- ・子どもたちの素敵な発想には大変驚かされました。北側に子どもが集えるスペースや、南口のツリーカフェなど実現できたらとても楽しいそうな案が多く、大人でも自由な発想を大切にできたら良いと思った
- ・子どもならではの柔軟な発想に驚かされました。カフェや温泉など、楽しそうなアイデアがたくさんありました。商業施設の屋上を使う案が多く、実現してほしいと思いました。

「新百合ヶ丘駅周辺のまちづくり」について、御意見がありましたら、記入してください。

- ・人間関係が温かい、みんなが楽しめる街になってほしいです
- ・子どもたちが参加できるまちづくりを期待したい
- ・北側のまちづくりを楽しみにしています
- ・この会場で開催していることを発信してほしい。麻生区住民が提案されることも必要なのでは
- ・交通をスムーズに。あたらしい市民館及び施設をうまく計画してほしい。こどもたちの発想も取り入れてほしい
- ・図書館、温泉、ドッグラン。どれも人が集まるものに興味があってよかったです。
- ・高齢者も多く、坂道も多いため、高齢者の運転が気になる。道路幅の拡大、ミニバス（駅周辺巡回）の検討で、子どもに安心なまちにしたい
- ・渋滞を改善して欲しい
- ・駅の北側にもっと人が集まるような場所ができたらうれしいです。気軽に休憩できるスペースが欲しいです。